

第1回 人口動態と財政に関するワークショップ
～Endogenous Fertility Model の可能性～

日時：3月7日（土）

場所：学術総合センター特別会議室101

受付：9:40～

第1セッション 10:00-11:10（報告40分、討論・質疑応答30分）

高畑純一郎氏（財務省財務総合政策研究所研究員／一橋大学経済学研究科博士課程）
内生的人口成長モデルでの最適な年金水準（仮題）

第2セッション 11:20-12:30（報告40分、質疑応答30分）

神野真敏氏（名古屋大学大学院）

Endogenous Fertility Rate and Elderly Care（仮題）

<昼食 12:30-13:30>

第3セッション 13:30-14:40（報告40分、討論・質疑応答30分）

安岡匡也氏（北九州市立大学）

The Maximum Size of Social Security in a Model of Endogenous Fertility (with Takashi Oshio)

第4セッション 14:50-16:00（報告40分、討論・討論30分）

小黒一正氏（世界平和研究所・研究員／経済産業研究所コンサルティングフェロー）

Child Benefit and Fiscal Burden with Endogenous Fertility (with Junichiro Takahata)

<コーヒー・ブレイク 16:00-16:20>

第5セッション 16:20-17:30（報告40分、討論・質疑応答30分）

塩津ゆりか氏（大阪商業大学／京都学園大学）

出産・就業選択の多様性を考慮した児童手当財源の分析

総括討議 17:30-18:00

Endogenous Fertility Model の可能性（今後の研究課題など）

<各セッションおよび総括討議での討論者>

上村敏之氏（関西学院大学経済学部 大学院経済学研究科）

加藤久和氏（明治大学政治経済学部）

焼田 覚氏（筑波大学大学院システム情報工学研究科）

<進行>

山重慎二（一橋大学経済学研究科）